

令和2年度第1回生涯学習推進協議会まとめ

いただいたご意見の主な内容と、計画への加筆等の対応方針をまとめました

	素案へのご意見	計画への加筆ほか
1	<p>国の考え方については、第3期教育振興基本計画における生涯学習に関する部分の抜粋である。</p> <p>県の考え方については、第3期千葉県教育振興基本計画の基本理念が掲載されており、生涯学習に関する部分の抜粋となっていないがよいか。</p>	<p>県の考え方の記載についても検討いたします。</p>
2	<p>基本的な方向性については賛同したい。</p> <p>なぜ、この方向を採用するのかについて、もう少し丁寧に記述してはどうか。</p> <p>具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P8イメージ図 文科省の教育行政のネットワークに関する図の理解にズレがある。 <p>人生100年時代の到来、貧富の格差の拡大と子どもの貧困の広がり、人口知能の急速な普及と雇用構造の変化、さらに激甚災害の頻発と新型コロナウイルス感染症の拡大などの社会問題化</p> <p>このために柏市の生涯学習行政に何ができるのか。</p> <p>こういった議論を行い、それを受けて3次計画の総括から何を引き継ぐかを議論し、「コミュニティ」、「子ども」を重視する4次計画へとつなげてはどうか。</p> <p>この施策を推進することで、社会教育が基盤となって市民を孤立させない生涯学習行政が実現すること、そのためには地域コミュニティが豊かに構成することが必要であること、そうすることで「笑顔と元気が輪となって広がるまち柏」が生まれることを強調してはどうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>イメージ図について再度検討いたします。</p> <p>第2章の記述へのご意見をありがとうございます。丁寧な書き込みから具体的施策へつながら記載になるよう工夫してまいります。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・「基本方針」はそれぞれの意図が明確になっていてわかりやすい。「取組方針」については支援の方向性が示されていて違いが明らかになっている。 ・取組方針の施策体系については具体的事業が例示されていてどこにアプローチすればいいのかがよくわかる。この事業の数が今後増え、充実することが大切。 ・全体的にビジュアル化して読みやすい形に。文字が多いので、レイアウトを工夫しては。コラムのところに活動の写真等がさらにあるとイメージがわく。 	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>体裁、写真の掲載を含め読みやすい工夫をしてまいります。</p>
4	<p>障害の有無や言語、時間、経済的制約に関わらず、全ての市民がいつでも、どこでも、だれでも学ぶことができる環境作りを支援していくというメッセージが、取組方針の中で段階的にイメージしやすい形で、また、取組方針の施策体系には、具体的事業の概要や計画がわかりやすく示されている。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>

5	<p>「④情報提供による学びの支援」はとても良いが、生涯学習の中で個人の学習から地域社会活動につなげたり、様々なコーディネートができる人材の育成をはかる取り組みも期待する。</p>	<p>情報提供で支援して、取組方針のイメージ通り循環することを目指します。</p>
6	<p>「オンラインの活用」と「フレイル予防ポイント」は、計画への記載を提案する。</p> <p>P21にある体系図のとおり、①から④までが連動していくことが好循環をつくっていくと思います。各施策間の連動の重要性をどこかに記載いただくことを提案する。</p>	<p>情報提供による学びの支援への加筆と「フレイル予防ポイント」事業の追加を調整中です。</p> <p>実務部会でも検討してまいります。</p>
7	<p>①「はじめるきっかけ」を支援の具体的事業や主な事業での内容が、子育て、障がい者に偏っている。</p> <p>また、「はじめるきっかけ」なので、出前講座の中にスタートアップ「ボランティア」とか、スタートアップ「地域活動」などの中に入りやすい講座は可能か。</p>	<p>主な事業は、3つの目指す方向性「子ども」「地域」「環境整備」の関係事業を中心に特出したものになっています。</p> <p>主な事業に限らず関連事業を増やしながら計画を進めていきたいと考えています。</p>
8	<p>「はじめるきっかけ」を支援の部分における具体的な事業として、『言語や時間・経済的制約に関わらず』に関連する例も挙げてはどうか。</p> <p>「もっと知りたい、つながりたい」を支援のD大学や民間事業者との連携について。テレワークが進んだことで、子どもの近くで仕事することも増え、子どもたちも将来を考えながら学習する機会になっている。そのような中でも、放課後子ども教室や地域学校協働活動はとても良い取り組みだと思う。他に大学と連携する取り組みがあれば記載されたい。</p>	<p>施策体系表の部分は実効性を担保するため、主担当課がはっきりしている事業を中心に掲載しました。</p> <p>A～Hに入る事業が揃い展開することを目指していますが、現状では事業が位置付けられない分野もあります。</p> <p>計画を進めながら関連事業を増やしていきたいと考えています。</p>
9	<p>「もっと知りたいつながりたい」の「みんなの子育て広場」が全小学校に設置できてありがたい。学校によって温度差があるため、学校・PTAはもちろん地域に周知し幅広く活用できればよい。</p> <p>子育て世代はほんの何年かしかない中で、それを学んだ親子が次世代につなげて欲しいが、どうしていくかこれからの課題である。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>「子ども」「地域」に関わる事業として取組方針イメージの好循環に乗せていけるよう進めてまいります。</p>
10	<p>③「ひろく伝えたい」を支援では、「人材育成」が論点となっていますが、学校協働活動の人材育成では、こちらも育成する人材の範囲が「学校に縁がある人」に限られる。</p> <p>地域活性化のためのリーダー作りが人材育成のテーマではないかと思う、広く人材育成ができる記載があることが良い。</p>	<p>本計画では三次計画から継続する重要事項として「子ども」と「地域」を取り上げています。</p> <p>両方に関連する「地域学校協働活動」を主な事業に挙げましたが、広く人材育成につながる好循環を目指します。</p>
11	<p>推進計画の内容に関して問題はありません。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>

12	<p>質問にありましたSociety5.0について、生涯学習の計画に記載されたら素晴らしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>
13	<p>中央公民館と教育福祉会館の運営や活動において、両者が連携しながら一体となって動くと、新しく真に有益で魅力的な施設になる。素晴らしい施設のオープンを期待する。</p> <p>生涯学習情報の一元化と相談窓口のネットワーク化、プラットフォームの強化は生涯学習課が積極的に行政機関と民間の生涯学習実施機関や市民とつながって、情報収集等をすると共に、コーディネート力（人材育成を含む）も強化してもらいたい。</p> <p>子ども達の生涯学習や体験活動の拠点として、青少年センターの充実した活用を望む。可能性ある施設だと思う。</p>	<p>教育福祉会館の取組は現在検討中です。本計画ではコラムで紹介しません。</p> <p>情報提供の一元化、ネットワーク化について、オンライン・オフライン共に重要と考えます。実務部会でも検討してまいります。</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p>
14	<p>Society 5.0と生涯学習を中心に</p> <p>Society 5.0とは</p> <p>「サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する。人間中心の社会(society)」</p> <p>昨今の社会は既に部分的にSociety 5.0の中へ入り込んでおり、述べられている以上に多くの内容が包括的に、Society 5.0に含まれている。また、これまでのSociety 1～4までの内容も、現在の社会に引き続き継承されていることに気づかされる。</p> <p>○今回のような新型コロナウイルスの拡大や大災害に見舞われた場合</p> <p>○少子高齢化が急激に進む社会において</p> <p>○現実社会において、生涯学習は如何に対応してゆくべきか？</p> <p>○Society 5.0に代表される新しい社会が訪れても、人と人とのつながりは依然として大変重要な領域である。生涯学習分野が担う範囲は広いと考える。</p> <p>Society 5.0を生きる私たちは、生涯学習における、教える側、学ぶ側の立場から思慮しておくことが重要であると考えます。</p>	<p>コロナ禍において、生涯学習は大変大事なことです。計画冒頭の「はじめに」の中で、当内容を含んだ内容の記載を考えています。</p> <p>施策面に関しては、コロナ禍においてSociety5.0に関わる状況が加速する中、現在各課で様々な取組が始まっています。しかしこれらは未だ流動的であり体系的に本計画に位置付けることは難しいと考えています。</p> <p>そのため、コラムで取り上げてまいります。</p>

その他ご意見

1	<p>「3 取組方針の施策体系」の「①「はじめるきっかけ」を支援」、「B 障害の有無、言語や時間・経済的制約に関わらず、共に学ぶ環境の充実」の具体的事業に、障害理解推進事業が記載されておりますが、健常者が障害を理解し、障害者と共に活動することは必要なことだと思います。しかし、これからは、「障害者の生涯学習」として、障害者が生涯を通じて自ら学ぶことのできる機会を提供していくことも必要だと思われるので、そのような事業が、柏市において実施されることを期待します。</p>
---	--

2	<p>現在のコロナ問題発生後今までの活動が基本的に困難な状況になっています。</p> <p>高柳地域では、地域の高齢者が参加して地域の歴史遺産を掘り起こし、小中学生に地域理解とふるさと意識を醸成する活動を行ってきました。</p> <p>現在は生涯学習課、公民館、図書館、文化課、地域支援課、多世代交流型コミュニティほかに関係課と協力した組織で活動を開始したところです。活動を風早南部地域全体に拡大し、子供たちが育っているこの地域が昔から何を考え、どのような生活をし、人材を育成し、地域発展に努力したかを調査編集して教育の新しい資料作りを行う目的です。</p> <p>この活動は地域の児童（小学生・中学生・高校生）地域の高齢者が協力しながら作り上げることに意義があります。この活動を展開できる仕組みを作り、コロナを超えた成果を出してゆきたいものです。</p> <p>現状の環境は最悪だと思います。しかし、これを乗り越える力は柏にあると確信します。・・・頑張りましょう・・・コロナを前提にして、この中で作り上げる、みんなで努力しましょう。</p>
3	<p>第3次計画の「重点施策」の流れからか、全体的に生涯学習計画が子育てや子育て世代にフォーカスされすぎている印象です。今までの会議がそうだったのかもしれませんが。もう少し、現行の地域社会で活躍する中心である、高齢者の生涯学習について触れても良いのではと考えます。高齢者でも、地域社会のコミュニティに入れない人がたくさんいると思いますので、そのような記載があっても良いかと思います。</p>
4	<p>柏市の生涯学習活動が第4次の推進計画に基づき、理念が具体的な形となり充実していくことを期待しています。どうぞよろしくお願いします。</p>
5	<p>今後、計画が完成したらこれをA4 1枚でわかるパンフレット等を作成して様々なところに配付したり、掲示したりできたらいいのではと思います。キーワードや写真を取り入れるとひきつけられると思います。（HPの充実も含めて）</p>
6	<p>コロナ禍により物事のオンライン化が急速に進み、情報発信についてのICT化の進展はこれからも必要ですが、オフラインでの時間・場所の共有から得られるものの大切さも見直されていると思いますので、市の取り組みもオンラインとオフラインのそれぞれの良さを生かしながら生涯学習の支援やコミュニティづくりの支援をしていただきたいな、と思います。</p>
7	<p>次回については出来得る限り対面会議形式での開催を希望いたします</p>
8	<p>皆様のご都合次第ですが、オンライン会議でも構いません。</p>